

# 掬水

きくすい

題字・佐藤重義

第 45 号

令和3年3月25日発行

〈事務局〉

秋田市手形学園町1-1

秋田大学教育文化学部  
同窓会旭水會 内

## 歴史の重みを これからの教育の発展へ

秋田市退職校長会 副会長 伊藤 栄二

ある日ラジオを聴いていたら、三遊亭円楽師匠が「普通学校では点数は百点満点だけど、私は百二十点をもらったことがある。」と話していました。高校時代のことですが、地学の課題を出され、図書館で自分なりにいろいろと調べて提出したレポートに、先生が「授業で教えた内容をはるかに超えており、これは満点以上である。」と言って百二十点を付けてくださったという話でした。(ABS「お便りください」令和二年十二月放送)

何気なく聴いていた話でも、学校や教育に関わる話題には、つい耳を傾けてしまうのが私たち教職者として校長職にあつた者の宿命のようです。

子どものやる気を引き出し、その気にさせる、教育の本質を見抜いていたこの先生の評価の仕方を自分ではできていたであろうか、また、校長職にあつたときに、先生方に、そのような指導をしていたであろうかと大いに反省させられました。

退職校長会は、長年教育に携わって学校経営の責務を果たし、心の奥底に「教育振興」の熱い魂をもった仲間が、気軽に繋がりが合い語り合う宿命を背負った者たちの集まりのように思います。

令和二年度の秋田市退職校長会新規入会者は八名でしたが、これは定年退職者の約半数に留まっています。退職校長会の意義や魅力を現職の校長先生方に十分にお伝えできなかったことが要因と考えております。さらなる情報発信に努める所存でおりますので、会員の皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

ところで、昨年米国の大統領選が行われ、バイデン氏の大統領就任とともに、カマラ・ハリス氏が女性初、黒人初の副大統領に就任しました。このニュースで想起させられたのは、米国の公民権運動の歴史でした。公民権運動の象徴といわれる一九六三年の「ワシントン大行進」において、黒

人指導者の故キング牧師は、次のような有名な演説を行いました。「I have a dream・・・私には夢がある。いつの日か、ジョージアの丘の上で、かつての奴隷の子どもたちと、かつての奴隷の所有者の子どもたちとが、兄弟愛というテーブルにつきことができることを。」長い長い歴史の積み重ねの中で、オバマ元大統領やカマラ・ハリス副大統領が選出されるような米国社会の発展があったのだと思います。

教育も多くの教育実践の積み重ねを経て、少しずつ内容を豊かに築き上げてきているものと思います。その顕著な例が、昨年度、県退職校長会結成五〇周年記念誌にまとめられています。佐藤俊彦前会長や高橋一郎現会長が中心となつて、秋田県教育の歴史をつぶさに調べ上げた結果として見出し出されたものでした。歴史の重みを感じ、そこから学び取った数多くのことを今後の教育の発展に繋げることも、私たち退職校長会の一つの役割であると考えています。

さて、昨年十二月一日に、高橋一郎会長が秋田市教育委員会に佐藤孝哉教育長を訪問し、私も同行させていただきました。主な話題は、コロナ禍の中での学校の現状や、令和三年度から始まる教室へのエアコンの設置、タブレット端末の配備などでありました。特にコロナ感染予防については、各学校は難儀しているものの、教職員が一丸となつて子どもたちの安全と安心のために最善を尽くしている様子がうかがえました。教育委員会としても学校の対応には非常に感謝しており、引き続き支援体制を強化していくとの心強い言葉があり、大変嬉しく思った次第です。

結びになります。令和三年度は、コロナ禍が一日も早く収束し、会員の皆様お一人お一人にとりまして、輝かしい一年となりますよう祈念いたします。

## コロナ禍における 学校の現状

### ワン・チームで ピンチをチャンスに

日新小学校

校長 高野 誠一郎

子どもたちが、担任や仲間との関係をつくる間もなく、四月の臨時休校が始まりました。一年生は、二日間だけ登校して自宅で過ごすこととなったのですから、子どもたちにとって、学校にとって危機的な状況でした。

休校期間中は、子どもたちの健康と安全の確認、学習課題の配付に加えて、学年部や英語専科、部活担当者などによるメッセージ動画や学習動画のネット配信を行いました。職員が知恵を出し合って子どもと保護者との絆をつくりながら休校期間を乗り越えた結果、職員のチーム力の高まりを感じました。動画を見た保護者からは感謝のメールが寄せられ、職員の達成感も大きなものとなりました。まさにピンチはチャンスです。

五月の再開直後、登校を渋る子どもが急増しました。感染拡大の報道が溢れる中、登校している子どもたちも不安げな様子です。新たなピンチに、感染予防対策を講じつつ、地域の状況を見極めながら、人間関係の形成と学習の基盤づくりを大事にして、子どもも教

師も笑顔になることを方針に示しました。

各主任の協働により「教育活動にかかる留意点（各教科・領域ごと）」が作成され、制約がある中で『できることは何か』についての共通理解が図られました。このことにより、職員一人一人が持ち味を発揮しながら、主体的で対話的な授業づくりへのチャレンジ、ペア学年・学級での集会活動へのチャレンジ、運動会などの行事へのチャレンジ、吹奏楽部などの部活動へのチャレンジ、教育相談活動へのチャレンジなどが続けられています。

九月末現在、登校を渋る子どもの数は三分の一ほどに減りました。猛暑時でも登校率が約99%を超える日があるなど、子どもたちも元氣と笑顔が戻り、職員の笑顔も増えてきています。ピンチをチャンスと捉え、コロナ禍での新たな教育活動に、ワンチームでチャレンジしている日新小です。

### 自分事として考えること

御所野学院中学校

校長 齋藤 渉

「このような状況ですが、私たちは心を一つにして、交流大会や定期演奏会に向かいたいと思います」

六月中旬、校長室に三名の生徒がやって来ました。そのうちの一人が、入室のあいさつに続いて発した言葉です。すぐにもう一人が、「そのために、ぜひ今年も部活動強化期間を設けていただけるようお願いに来ました」と

のこと。そして、最後の一人が「キャプテン・部長会で決めた強化期間中の約束です」と、『集中』『意欲』『時間』『あいさつ・返事』『感謝』『NO！3密』の六つのキーワードとそこに込められた意味を、ノー原稿で説明してくれました。昨年まで先輩たちが頑張り抜いてきた約束に今の状況も加味し、キャプテンや部長たちで知恵を出し合って決めたのでしょう。先輩たちも、そして我々大人でさえ、誰も経験したことのない事態の中で、モチベーションを切らさずに今できることを最大限やっていたこうとする彼らの心構えに感心した瞬間でした。校長として彼らの申し出を断るなど、できようはずはありません。「いつもと違う年だからこそ、勝敗を超えたいいつもと違うものををつかんでほしい」と伝え、願いを叶えることを約束しました。

朝の検温チェック、手洗い・手指消毒・マスク着用の励行、咳エチケットや換気の徹底、放課後の消毒作業の毎日。更には中高合同体育祭の中止、教科教室制の停止、研究旅行（修学旅行）の延期……。とまどいの多い一年ですが、いつも通りにできないからこそ生徒たちが一層自分事として物事を考え、職員がそれを支え、目的を焦点化し方法を工夫しながら実行する機会が多かったように思います。ウィズコロナの生活はまだまだ続きそうですが、今後も感染症予防の対策をしっかりと講じながら、生徒の自己決定の場を大切にしていきたいと考えています。

# 交流のとびら

## いつものように

鈴木 廣 司



いつものように目が覚める。いつものように、まわりにはダンボール箱が乱雑に積まれている。この箱の中には、毎年児童館・センターで行ってきた「科学あそび」に使う小道具が入っている。他人から見ればガラクタ同然だろうが、私にとっては愛着ある手作りグッズである。

ところが、今年になって一度も開けることがない。新型コロナウイルスの影響で、学校と同様に児童館等も活動に制約を受け、私の出番も無くなったからだ。たくさん子どもに奮闘する厚生員の方々には、例年以上の重荷を背負っていることであろう。少しも手伝えなくなり歯がゆい限りである。

こんな不安な日々が続く中で、子どもたちはどうしているだろう。大声は出せず友とジャレ合うこともできず、孤食状態の給食、口元がマスクで隠れた会話、また多くの学校行事が制約される中、心の豊かさは保たれるのか心配になる。

先日の報道で、修学旅行が中止される中で子どものアイデアにより、学校でキャンプしたと近く農家での体験を楽しんでいる様子を知った。子どもは案外適応していくのかも知れない。

さて、私の部屋に積まれたダンボール箱の中身も、このままガラクタと化するのか、いつものように子どもたちの眼の前で役目を果たすのか、先は見えない。

(平成二十年三月退職)

## どの子どもどもは星

相場 郁子



数年前、築約二百年の茅葺の家を今風に建て替えることにした。やむを得ずと思いつつも寂しい決断であった。そこでこの古い家をせめて絵に残そうと思ひ油絵を習った。出来た30号の絵は、新しい家の玄関に飾っている。同時に書道も始めた。以前同職した先生が教室を開いていて、当時の仲間五人と一緒に筆を走らせているがまるで女子会で楽しい。雑事に追われる日常に、心の癒しを与えてくれるもう一つが茶道である。学ぶことの難しさを味わいつつも、日本の伝統文化の奥深さを、広い視野から丁寧に博識の先生から指導して戴いている。これも貴重な時間である。

コロナ感染が広がり始めた頃、非常に嬉しいことがあった。約50年前に担任した子どもと電話や手紙のやり取りができたことである。その名前を聞いた瞬間、当時の顔や姿が浮かび、後の情報交換では心が弾んだ。学級写真や十枚に及ぶ当時の日記帳のコピー、家族写真等を送ってくれ、懐かしさと同時に私の心は温かくなり、心の中の子どもの星が輝いた。

大学時代、サマースクールを終え、タクシードで帰る私達大学生を、泣きながら必死に自転車で追いかけてくる僻地の子を目にした時、私は教師になりたいと強く思った。

そして卒業後、藤沢市の小学校を皮切りに秋田市内の小中学校八校と県教育センターで三十七年半の教員生活を体験する事ができた。

藤沢で担任したK子さんとは結婚式に参加した後も、電話や会食等で親交を温めているが、最近では私の方が教えられることが多い。

F子さんは夫とケーキ屋を開店したといつて大阪から洋菓子届けてくれた。教職最後の卒業式に25年前同校を卒業したM君T君が花束を持って祝ってくれた時は涙が溢れた。指導主事時代、ある小学校を訪問した時に出合った詩をいつも思い出す。

『どの子どもどもは星』 東井義雄

現職時代も、教職を終えた今もなお、子どもたちの星に元氣と希望を載っている昨今である。

(平成十九年三月退職)

## めざす「じいさん」とは

三 浦 雄 一



4K有機ELテレビが我が家に到着した。東京オリピックに合わせて是非購入しようとなつたから妻とも相談していたのだが、暮れのある日、たまたま衝動が高まり一人で契約をしてしまった。4Kブルーレイレコーダーまで注文してきた。家に帰って恐る恐る妻に話すと、案の定、「一緒に見て、決めるべき物なのに、勝手なことをする。前々から全録レコーダーが欲しいと言っていたのに。どういうこと？」高速ロケット砲を連射され、あらためて「しまった、先走った！」と後悔。翌日二人で家電量販店に行き、レコーダーは全録に変更して、許しを得る羽目になった。

「全録」が今や、我が家の主役である…。

「明治、大正、昭和」の激動の時代を生き抜いてきた孤高の老人の姿に憧れていたが、自分も「昭和、平成、令和」と3つの時代を

生きていることになったと気づいた。難しいじいさんになつてはいけないと自分では思ってきたが、家族から見ると、随分自分の価値観を優先する口うるさい老人になつてきたらしい。若い頃、「いい人」と言われてきたことの反動が今出ているのかもしれない!?

退職して6年目、ひよんなことから保育園に勤務している。子どもたちの元気な声に包まれ、口元が緩む日々。記憶力の衰えや思考のかたくなさに老いを感じつつも、子どもの柔軟な発想や感性に刺激を受け、「好々爺(こうこうや)」もいいなと思いついて始めている。

(平成二十七年三月退職)



## 明るい年で ありますように

刈田 茂

定年退職の年度に入学した中学一年生の卒業式への参列が、私にとって最後の儀式だと思っていたが、コロナ禍によって叶わなかった。昨年の春のことである。あれから約1年。深刻な状況が続いているが、若者の未来への意欲が萎えないことを心から祈っている。

定年後は市民サービスセンターで生涯学習の仕事に携わり、元教職員の大先輩を講師に依頼するなど、多くの方々に支えられながら、3年がたとうとしている。ここにおいて、様々な場面で活躍しているリーダーや、奉仕的な活動に意欲的に取り組む人々の姿が目が止まる。その中に元教職関係者が少なくない。社会の高齢化が進み、人をつなぐネットワークが一層求められている今、教職で培われた様々な資質・能力は貴重であり、人をつなげ、コミュニティをよりよく広げている。そのよ

うな輝く人を見るにつけ、私も何かしなくてはと心をくすぐられる思いである。

カメラを持つて低山歩きなど、やりたいことはあるのだが、週4日の勤務では遠出は難しいしコロナ禍で祭り等も中止、それに加えて至る所で熊が出没する昨今。山の写真も車道からの撮影になってしまった。最近の被写体は孫ばかりだ。昨年は切り絵や鈴虫の飼育などインドアなことにも挑戦したが、運動不足も課題の一つ。カメラが重く感じられるようになってきている。知的好奇心や行動の意欲が低下せぬよう何かしなければ、という気持ちばかりが空回り。今年はまだ少し行動的でありたいと思っているこの頃である。

(平成三十年三月退職)

## 残念!

### 「楽しい研修会」でぞす

研修担当 大山 重幸

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、計画していましたが「陶芸体験」「アトリオンコンサート」「県産酒飲み比べ」の各研修は、残念ながら中止となりました。参加申込みをしてくださいました会員の皆様には、お詫び申し上げます。来年度は感染が収束し、実施できるものと信じています。

さて、飲み比べ研修で学習予定であった日本酒について、一口メモを掲載します。

- ・純米酒(醸造用アルコールを添加せず、米だけで造る酒。《二日酔いせず。個人感想》)
- ・精米歩合(玄米を削って残った割合。大吟釀は50%以上削った酒でフルーティな香り)
- ・日本酒度(甘口、辛口の目安。マイナスが高ければ甘口、プラスだと辛口)

・秋田県酒造組合には、34の蔵が加盟。  
・秋田の水は全般的に軟水であるため、酒はまろやかで、きめ細やか。(灘の酒は硬水)  
・適量の酒は、心臓病や老化・痴呆の発症リスクを下げるという疫学的データがある。  
・コロナ禍ですので、県産酒をぜひ家飲みでお楽しみください。

## 祝叙勲

瑞宝双光章 高齢者叙勲 (敬称略)

進藤 清 秋田市牛島  
國井 和男 秋田市手形

## 事務局から

### 令和三年度年間行事予定

・秋田市退職校長会

監査 令和3年4月15日(木)  
理事会 4月24日(土)

※コロナ禍のため総会に替えて理事会を開催予定

現職・退職校長会教育懇談会

11月13日(土)

※新型コロナウイルス感染状況によって、延期・中止になる場合があります。

## 謹んでお悔やみ申し上げます

令和3年1月31日現在(敬称略)

・長澤 昭治 令和元年12月17日(金)逝去  
・高橋 壽男 令和2年3月4日(金)逝去  
・高桑 秀男 令和2年3月9日(金)逝去  
・大竹 東 令和2年3月15日(金)逝去  
・佐藤 良太 令和2年3月18日(金)逝去  
・佐藤 一視 令和2年5月26日(金)逝去